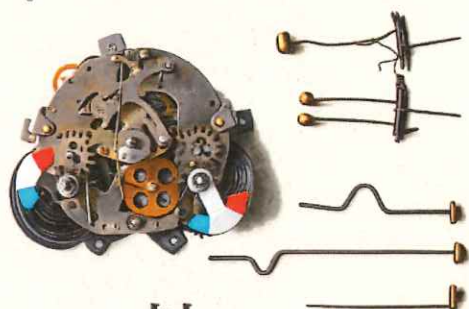


記憶は、どこに封じられているのだろう。
A JOURNEY THROUGH FRAGMENTS OF MEMORY



HIDEYUKI
FUJIHARA
EXHIBITION

藤原 喬之展



封入された
記憶

2026

9.19 SAT

— 27 SUN

9:00 — 16:30

最終日 13:00まで

休館日 9.24 Thu

入場無料

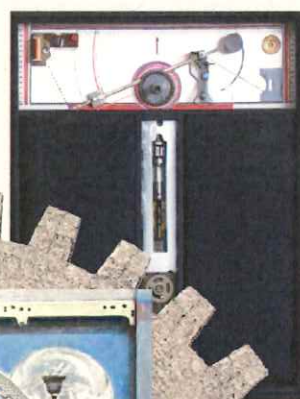
市川市

芳澤ガーデンギャラリー

〒272-0826 千葉県市川市真間 5-1-18

▶ JR総武線市川駅より徒歩16分

▶ 京成線市川真間駅より徒歩12分



HIDEYUKI FUJIHARA EXHIBITION

記憶は、過去にあるものではない。ある風景や物との偶然の出会いによって忘れられていた時間は現在へと立ち現れ、新たな意味を帯びる。藤原秀之は、長年にわたり「記憶」を主題として制作を続けてきた。故郷・鳥取の風景、現在暮らす市川の日常、身近な物や生命の痕跡は、個人的な体験を超え、見る者それぞれの記憶と交差する場として画面に描かれる。本展は、市川で初めて開催される個展となる。土地に刻まれた時間と個人の記憶が重なり合う絵画空間を通して、日常のなかに潜む記憶の豊かさを見つめ直す機会となるだろう。

藤原秀之展

封入された記憶



白の記憶 No.17 (1998年)



青の記憶 No.45 (2019年)



黒の記憶 No.10 (2010年)



黄色の記憶 No.3 (1994年)



青の記憶 No.61 (2024年)

DATE

2026

9.19 SAT

— 27 SUN

9:00-16:30

最終日 13:00 まで

休館日 9.24 Thu

入場無料

PLACE

市川市芳澤ガーデンギャラリー

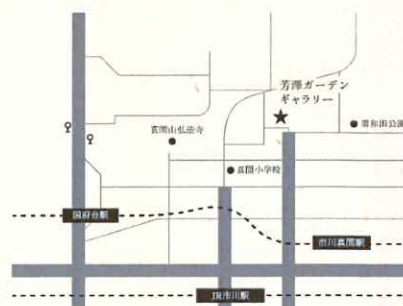
〒272-0826 千葉県市川市真間 5-1-18

<https://www.tekono.net/yoshizawa/>

ACCESS

▶ JR 総武線市川駅より徒歩16分

▶ 京成線市川真間駅より徒歩12分



藤原 秀之 HIDEYUKI FUJIHARA

1953年鳥取県生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。

「記憶」を一貫したテーマに、時間の堆積や風化の痕跡を絵画として表現する。

《白の記憶》シリーズからはじまり、黒、青、緑、金色、グレーなど色のシリーズを制作。

1983年より東京を中心に継続して個展を開催。ワコール銀座アートスペース、

小野画廊、神戸芸術センター、アートコンプレックスセンター東京などで作品を発表し、

日本芸術センター絵画公募展金賞・審査員賞、プラチナアート大賞展優秀賞などを受賞。